

日本声楽発声学会
2017年度 夏季研修会

日 時：平成29年（2017年）8月21日（月）・22日（火）

8月21日（月）— 講座開始：12：55 ～ （受付開始：12：30）

8月22日（火）— 講座開始：10：00 ～ 終了時刻：15：30

場 所：日本福音ルーテル東京教会（JR 新大久保駅下車）

東京都新宿区大久保1-14-14 （会場への電話はご遠慮ください）

ご挨拶

向暑の候を迎えております。恒例の夏季研修会を開催いたします。プログラムは、世界レベルでご活躍のテノール歌手 N. R. ジョルダーノ氏を迎えて、イタリア曲の歌唱技術の公開指導、現代作曲家香月修氏の日本語でうたう際のアドバイス、工藤和俊氏の音声生理学から、生体情報から読み解く身体感覚など、多方面から研究課題を提供いたします。お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちいたします。

会長 永井和子

プログラム

総合司会 佐々木正利 (副会長・両日)

第1日 8月21日(月)

開会挨拶 永井和子 (12:55 ~ 13:00)

A 講座 ニコラ・ロッシ・ジョルダーノ氏による公開レッスン

13:00 ~ 15:00

司会 川上勝功(副会長)

講演テーマ 発声を中心に、イタリア歌手の立場からレッスンをしていただきます。

会場 2階 礼拝堂

講師 テノール:ニコラ・ロッシ・ジョルダーノ氏 (Nicola Rossi Giordano)

通訳 栗原 利佳 (くりはら りか)

ピアノ 早川 揺理 (はやかわ ゆり)

概要

appoggio は、日本人は支えと訳しがちであるが、本来の支えは *sostegno* という別の言葉で言われ、*appoggio* はまた違った感覚で、日本語では適当な言葉が見当たらない。その他諸々、*acuto* や *girare* 等についても実際のレッスンを通して、どのような感覚かを学んでいただきたい。

受講生

・大垣ひで美 (ピアノ 高野京子)

(会員、ソプラノ、同志社女子大学卒業、関西室内女性アンサンブルで活動、パリ留学、フランス歌曲を学ぶ。)

受講曲：① “Dopo” F.P. Tosti 作曲

② 《セビリアの理髪師》より “今の歌声” G.A. Rossini 作曲

・釘持瑞穂 (ピアノ 早川揺理)

(会員、ソプラノ鹿児島国際大学国際文化学部音楽科卒業。
ウーヴェ・ハイルマン、川上勝功氏に師事。)

受講曲：① Tristezza (悲しみ) F. P. Tosti 作曲

② Tu che di gel sei cinta (氷のような姫君も) G. Puccini 作曲

・田中雅史 (ピアノ 小泉勇人)

(学生正会員、テノール、岩手大学教育学部音楽科卒業、
現在東京藝術大学声楽科1年在学中、川上洋司氏に師事)

受講曲：① “O del mio amato ben” S. Donaudy 作曲

② “Visione marina” P.Cimara 作曲

プロフィール

ニコラ・ロッシ・ジョルダーノ氏

イタリア、ジェノヴァに生まれる。2000年、スペイン、コルトヴァ国際コンクールを皮切りに数々の国際コンクールにて優勝。オペラ「アイダ」のラダメス役で、エジプト・カイロでデビュー以来、世界最高峰の演出家フランコ・ゼフィレリに見出され、その後、前代未聞のスピードで世界主要の劇場でデビューを果たし、「シモン・ボッカネグラ」「蝶々夫人」「トスカ」「ノルマ」等々、主要なオペラの主役を次々とこなすその数は、ここに挙げるに絶するほどにあり、氏の歌声はまさに世界中を魅了している。

栗原利佳氏 (通訳)

フェリス女学院大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修了。2004年スペーツィアカルロ国際声楽コンクール優勝。2006年イタリア、サポーナで行われたポンティンブレア国際声楽コンクール優勝。故疋田正次郎、ルーイーザマリアアーノ、故オッターヴィオガラヴェンタに師事。二期会会員。

早川揺理氏 (ピアノ)

フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒業。東邦音楽大学総合芸術研究所ピアノ伴奏法コース修了。マウロ・アウグスティエーニ氏の日本における声楽マスタークラスのピアニストを毎年務め、声楽のベルカント唱法を声楽家と共に研究日本歌曲を塚田佳男氏、ロシア音楽をアレクセイ・トカレフ氏、ドイツ音楽や宗教音楽をウーヴェ・ハイルマン氏の元で研鑽を積み、多岐に亘り活躍。

B 講座 現代日本の作曲家シリーズ講座Ⅳ

15:20~17:20

司会 永井和子

講演テーマ 「日本語の歌」 — 歌曲・オペラの創作を語る。

会場 2階 礼拝堂

講師 香月 修氏 (かつきおさむ) (元桐朋学園大学音楽学部教授)

演奏曲目 歌曲 〈磬 (いし) のうへ〉 — 三好達治詩
〈月夜 (げつや) の森〉 — 三木露風詩
オペラ 《夜叉ヶ池》より 〈百合のアリア〉 〈子守歌〉 —
(原作: 泉鏡花 台本: 香月修/岩田達宗)

演奏者 松島理紗 (ソプラノ) (まっしまりさ)、
西原瑠一 (ピアノ) (にしはらるい)

概要

今回の講演では、私の声楽作品の中から

- 1、〈磬 (いし) のうへ〉 — 三好達治詩 (20 才代)、
- 2、〈月夜 (げつや) の森〉 — 三木露風詩 (40 才代)
- 3、オペラ — 《夜叉ヶ池》より 〈百合のアリア〉、〈子守歌〉 (60 才代)

と、作品年代の異なる 3 つの作品を取り上げながらお話をしたいと思います。

内容は詩のイメージや解釈について、或いは外国語と比較するとイントネーションの起伏が平坦な日本語をいかに「歌に仕上げていくか、またピアノ (オーケストラ) パートの役割に関する私の「こだわり」等、作曲に際しての様々な考えを述べさせていただきます。また 3 年半の歳月をかけて作曲し、2013 年に新国立劇場で上演されたオペラの創作プロセスをお話しし、その苦勞と喜びを皆さまと共有出来れば、と考えています。

プロフィール

香月 修氏

1948 年、佐賀県生まれ。桐朋学園大学作曲科卒業。入野義朗、別宮貞雄両氏に師事。三好達治、佐藤春夫、三木露風等の詩による歌曲は、これまで多くの歌手により繰り返し演奏されている。2013 年には、3 年半の歳月をかけて作曲したオペラ「夜叉ヶ池」— 新国立劇場委嘱作品 — が、同劇場で 5 日間上演された。他にも「詩曲 I ~ IV」のソロ、室内楽作品や「子供の四季」等の合唱曲作品等多数。現在ピアノ曲集「ツグミの森の物語」— 全音楽譜出版社より 6 月半ば発売予定 — を書き終わり、次の作品への構想を模索中。(2017、3、27 記)

松島理紗氏 — 桐朋学園大学大学院在籍

西原瑠一氏 — 桐朋学園大学大学院在籍

第2日 8月22日(火)

C 講座 身体運動科学

10:00 ~ 12:00

司会 豊田喜代美

講演テーマ 身体運動科学

「感覚し、運動する身体：生体情報から読み解く身体感覚」

会場 1階 会議室

講師 工藤和俊氏（東京大学大学院情報学環准教授 会員）

概 要

音楽演奏は芸術の体現であり、単なる身体運動ではない。しかしながら、身体運動なしに音楽が成立しないのもまた事実である。研ぎ澄まされた感覚と運動によってリアルタイムに場を創生するという音楽家の特質は、アスリートとの共通点も多い。このとき運動と感覚は表裏一体であり、優れた動きの背景には優れた感覚が存在する。これらの感覚については、熟達者の語る言葉の端々から多くを知ることができるが、言葉ですべてを語りつくすことは難しい。そこで本講演では、アスリートや音楽家の身体に着目し、視線、瞬目、筋活動、心拍、発汗など多様な生体情報を計測し、読み解く過程を通して、本人にも語りえない身体感覚に迫る試みを紹介する。

プロフィール

工藤 和俊氏

1967年群馬県生まれ。1998年、東京大学大学院総合文化研究科生命環境科学系修了、博士(学術)取得。2002-2003年、米国コネチカット大学 知覚と行為の生態学研究センター客員研究員。東京大学大学院総合文化研究科助手、助教、准教授を経て現在、東京大学大学院情報学環・学際情報学府准教授。研究分野はスポーツ心理学/運動認知神経科学であり、スポーツ、音楽演奏、ダンスにおける巧みな身体操作について、動作・筋活動・心拍・発汗等の生体情報計測および非線形力学系モデル・ベイジ統計モデルなどの数理モデルを用いた研究を行っている。

2010年、トレーニング科学会トレーニング科学研究賞受賞。主な著書・訳書に「身体：環境とのエンカウンター」(東京大学出版会、2013、分担執筆)、「巧みさとその発達」(金子書房、2003)がある。

D 講座 「歌の集い」 演奏会

(日本声楽発声学会会員による演奏会)

(開場 12:30) 13:00 開演 ~ 15:30 終了予定 司会 豊田喜代美

会場 2階 礼拝堂

入場料 2,000円

第1部

川上勝功 (バリトン) / (早川揺理)

シューベルト作曲 〈楽に寄す〉 他

小林寿和子 (ソプラノ) / (黒田圭子)

ドビュッシー作曲 〈忘れられたアリエッタ〉 全曲

高橋昌子 (ソプラノ) / (松下智子)

武満徹作曲 〈小さな空〉 他

喜屋武いつみ (ソプラノ) / (林 翔子)

ヘンデル作曲 《メサイア》より 〈シオンの娘よ、おおいに喜べ〉 他

藤田 明 (指揮) 女声アンサンブル “グリュツィーネ” / (山田裕子)

モーツァルト作曲 〈アヴェ・ヴェルム・コルプス〉 他

* () 内はピアニスト

第2部

レクチャー・演奏

山田 実 (本学会相談役) (ピアノ 入川めぐみ 会員)

講演内容: 1) 邦訳歌唱の功罪

2) 日本語歌唱の問題点

3) Tenors are not to be born but to made.

プロフィール

山田 実氏

東京藝術大学卒業。全額支給留学生として在米9年。ジュリアード音楽院で宗教音楽修士号、コロンビア大学大学院で、「歌手の発語法の研究」で学芸博士号受領。全米各地で演奏活躍。帰国後、武蔵野音楽大学、ルーテル神学大学、桜美林大学にて教鞭。桜美林大学名誉教授。

入川めぐみ氏

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。1993年第2回カワイクラシックオーディション伴奏部門で最優賞受賞。1995、モデナ(イタリア)にてアリゴ・ポーラ氏らによる「声楽・伴奏法講座」受講。二期会フランス歌曲研究会ピアノ会員、全日本ピアノ指導者協会、本学会各会員。

* I部、II部とも演奏曲目、その他講演に関する詳細は、当日お配りしますプログラムをご参照ください。

2017年夏季研修会参加要項

夏季研修会の聴講料及びC講座のレッスン受講料は次の通りです。

◎ A、B、C 講座の聴講料

(3 講座すべて事前申し込んだ場合は料金が 2 割引になります。)

	正会員	学生正会員	臨時会員	高校生以下
1 講座のみ	2,000 円	1,000 円	3,000 円	500 円
2 講座のみ	4,000 円	2,000 円	6,000 円	1,000 円
3 講座全て	4,800 円	2,400 円	7,200 円	1,200 円
当日料金	6,000 円	3,000 円	9,000 円	1,500 円

◎ A 講座 レッスン受講料 - 1 人 40 分程度 5,000 円 (原則として伴奏者同伴。学会に伴奏希望の場合は、事前に事務局へご連絡下さり、3,000 円を当日お支払いください。)

◎ D 講座 第 11 回「歌の集い」入場料 2,000 円 (会員の種別にかかわらず同一料金です)

◎ A、B、C 講座の聴講および、D 講座「歌の集い」の申込方法

※ 事前振込の締切 8 月 15 日 (火)迄 (それ以降は、当日受付にて上記の当日料金をお支払いください。)

聴講の申込は、ゆうちょ銀行の払込取扱票 (青色) にて 00170-0-119920 (加入者名: 日本声楽発声学会) へ、見合った金額をお振込みください (振込料は各自ご負担ください)。通信欄に、①どの講座 (A、B、C) を聴講されるか、および D 講座「歌の集い」を入場かどうか、②会員種別 (「正会員」、「学生正会員」、「臨時会員」、「高校生以下」) のどこに属するか、住所、氏名、電話番号を必ず明記してください。聴講料の払込をもって参加の申込とさせていただきます。

<2017年11月106回例会案内紹介>

A. 研究発表

1) 発表者：重田敦子理事

題目：「マリアの呼吸 Atem-Tonus-Ton における歌唱者の体験的实践から見た
一考察」

2) 発表者：河合孝夫理事、田村邦光氏

題目：『声楽発声の母音のフォルマントと会話のフォルマントの比較』

B. 特別講演

講師：中村敬一氏

題目：歌うことと演じること ところで、その接点を見いだすか？

舞台上で求められる演技と発声に必要なフォームとのバランスをどうとるのか？

C. 現役声楽家の演奏とお話し

講師：今尾 滋氏 (テノール)

題目：「キャリア開始後の声種変更に対する演奏家の立場からの一提言」

ピアノ：古藤田みゆき

演奏曲目 (抄)：

R. ワーグナー

《ヴァルキューレ》より 〈父はわたくしに一振りの剣を約束した〉

《ヴェーゼンドンクの5つの歌》より 〈苦悩〉 他

日本声楽発声学会事務局 (担当：安原道子)

〒215-0003 神奈川県川崎市麻生区高石4-11-14-409 (安原)

E-Mail : info@jars-voice.org

Tel/Fax : 044-577-2037

日本声楽発声学会Webサイト <http://www.jars-voice.org/>

郵便振替口座 00170-0-119920 加入者名：日本声楽発声学会

日本声楽発声学会

2017年度 夏季研修会

2017年 (平成29年) 7月25日発行

発行者：日本声楽発声学会

編集者：永原恵三

印刷所：よしみ工産株式会社東京事務所

〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 本郷宮田ビル3F